

**大阪商業大学大学院**  
**地域政策学研究科 経営革新専攻**

**入学試験問題(一般・社会人)**

**【修士課程】**

平成 26 年度 (秋期) 小論文・外国語(英語)  
平成 26 年度 (春期) 小論文・外国語(英語)

## 小論文問題

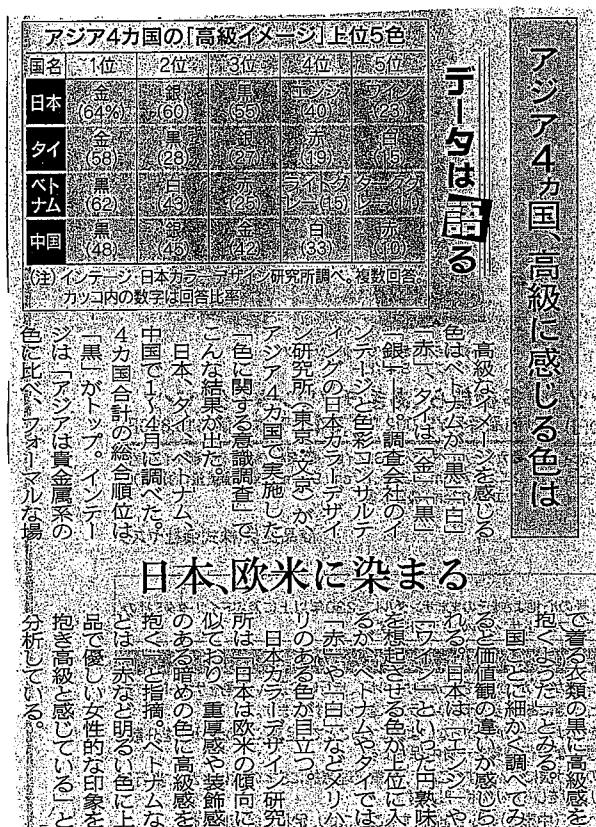
次の①～③の問題の内、1つだけ選択して解答用紙に記入してください。解答用紙には選択した問題の番号を必ず記入してください。

- ① 交通および物流の分野における環境問題とその対策について知るところを述べよ。

- ② フィリップ・コトラー氏は、マーケティングにおける製品の概念を「便益の束」と括っていますが、あなたはそれをどのように解釈するのか。15 行以上（目安として 600 字以上）でまとめてください。

- ③ 次の新聞記事に掲載された調査報告を読み、次の設問に応えなさい。

設問：国際マーケティングの分野では、世界の市場が同質化するという前提に立ち、世界共通のマーケティング政策を実施すべきとする「標準化」(Standardization)アプローチと、製品や販売チャネル等を進出先国の市場に適合するように変えるべきだとする「現地化」(Localization)アプローチが対立してきました。この新聞記事にある調査データをよく読み、あなたはどちらのアプローチを選択すべきと考えますか。各アプローチの利点・欠点を勘案しながら、あなたが選んだアプローチ方法の合理性を説明しなさい。



出典：日本経済新聞 2013年7月23日朝刊

平成 26 年度 大阪商業大学大学院入学試験 経営革新専攻（春期）【修士課程】

小論文問題

次の①～③の問題の内、1つだけ選択して解答用紙に記入してください。解答用紙には選択した問題の番号を必ず記入してください。

- ① 近年、日本においても、交通や物流の分野で規制緩和が実施されてきた。しかし、この変化は経営者のみならず、労働者にも大きな影響を与えた。  
そこで、交通あるいは物流分野における規制緩和について、具体的な事例を挙げて説明し、その意義について論述しなさい。
- ② マーケティングにおいて、S（セグメンテーション）、T（ターゲッティング）、P（ポジショニング）分析がマーケティング・ミックス（4P）の決定に際して非常に重要な要素として認識されています。具体的な事例を挙げて、S・T・P の重要性を説明しなさい。
- ③ 世界には一日 2 ドル以下の収入で生活する人々が 40 億人以上いるといわれています。これらの貧困層は BOP(Base of the Pyramid)と総称されています。今まで BOP の人々は経済開発論の研究対象と考えられてきましたが、経済援助の取り組みはあまり成果を上げていません。新たに、ビジネスの手法を活用した貧困の削減が提唱されるようになっていました。中国は改革開放政策とビジネスの普及によって貧困層の削減に成功しました。このように、今日では、ビジネスという手法の普及による貧困層の経済的自立と生活改善が「ソーシャル・ビジネス」として注目されています。多国籍企業は、途上国の貧困層の削減と経済発展に積極的に貢献すべきでしょうか。また、企業はどのようにしたら対立してきた NGO や NPO と協力関係を結ぶことができるでしょうか。BOP ビジネスを展開するに当たり、経営者はどのような考え方（経営理念）を持つべきでしょうか。BOP ビジネスについて貴方はどのような考え方や意見をお持ちですか。考えるところを論じなさい。